

# 分かりやすく伝えるデザイン ～せらにしのマークを考えよう～

本題材で育成する資質・能力

課題発見・解決力、創造力、主体性、感性

## 1 題材について

### (1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領 第2学年及び第3学年における「A表現」「(2)イ 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。」及び「(3)ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。」、さらに「B鑑賞」の「(1)ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。」に関連する題材である。

本題材は、生徒の生活の場となる自分の町の文化を他者に伝えるためのマークづくりを行い、伝達のデザインの基礎を学ぶことをねらいとしている。郷土のよさに関心を持ち、他者にそれらを伝えるためのデザインをすることは、郷土に対する理解を深める契機になると考える。また、対象をマークに表現することは、形の単純化や強調をしたり、色数を限定し効果的な配色を考えたりするのに適している。

### (2) 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【知識】	生きて働く知識・技能		
【スキル】	①課題発見・解決力	②創造力	③コミュニケーション能力
【意欲・態度】	④コラボレーション能力	⑤主体性	
【価値観・倫理観】	⑥郷土愛	⑦感性	

この中から、本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の3点に重点を置くものとする。

#### 【スキル】

##### ① 課題発見・解決力

色の配色を考えるにあたって、与えられた情報の中から課題を見出す力を身に付ける。また、その課題を解決するために、既習の知識や体験に関連付けて考え、課題を解決する力を身に付ける。

##### ② 創造力

表したいイメージを、知識や体験に基づき、形や色彩のより効果的な表現方法を考えながら工夫して表現する力を身に付ける。

#### 【意欲・態度】

##### ⑤ 主体性

自分から課題に向き合い、積極的に考えようとする態度を身に付ける。また、他者に対しても、分からないところがあれば聞き直すなど、自分から関わり合おうとする態度を身に付ける。

#### 【価値観・倫理観】

##### ⑦ 感性

配色によって、受ける印象の違いがあることに気付き、それらを利用したデザインの創造のために、自分が色に対して感じる感覚を大事にする感性を身に付ける。

### (3) 生徒観

アンケートの結果によると、本学級の生徒は、「美術の授業で学んだことは今後の生活の中で必要だと思う」と生徒全員が肯定的回答をしており、美術科の学習の必要性を感じている。また、「色の性質を考えて絵を描いている」「絵を描くときは、どう見せるためにどのように表現したらよいかを考えながら描いている」「他者が考えたことや感じたことを知りたいと思う」という項目での肯定的回答が90%と高い一方で、「デザインに興味がある」という項目の肯定的回答はやや低い。



### (4) 指導観

本題材を指導するにあたっては、次の3つの視点で指導を行う。1つ目は、自分の町の特産品や文化、観光地などを題材にした学習に取り組ませ、郷土に対する理解を深めさせる。2つ目は、学習指導要領の〔共通事項〕の視点を意識した学習活動にするために、特産品や文化、観光地などを他者に分かりやすく伝えるマーク(ピクトグラム)づくりを行わせる。このことで、身近な題材を使い、目的をもって作品づくりに取り組むことで、デザインへの興味を高める。3つ目は、よりよい創造を目指す主体的な態度を養うために協調学習を取り入れ、制作の過程で、アイデアスケッチや作品についてグループで話し合ったり批評し合ったりさせる。このことは、自分の作品を俯瞰することや学習目標を確認しながら制作をすることになり、よりよい作品づくりにつなげていく。

協調学習を通じて他者との対話から、人それぞれの様々な価値観に触れることで、様々な可能性があることに気付かせ、意見を取り入れながらもグループで1つのデザインを完成させるという学習を進めてく。また、色の配色という作業を効率よく進めるため、グループで1台のタブレット型パソコンを使用し、理解を深めさせる。

生活に役に立ついろいろなことや物をつくるに当たって、事物の用途、材料、構造や機能とともに、美しさや調和を考えて、ある一つの形態や形式にまとめあげる、デザインの学習に興味をもたせたい。

## 2 題材の目標と評価規準

### (1) 題材の目標


- 郷土のよさを多くの人に伝えるために、誰にでも分かるマークにすることに留意してデザインをする。
- 形や色彩の効果を考え、表したいイメージを基に表現方法を工夫する。
- アイデアスケッチや作品について批評し合うなどの協同的な学びを通じて、よりよい創造を目指す主体的な態度を養う。

### (2) 題材の評価規準

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○郷土のよさに関心を持ち、それらを分かりやすく伝えるために主体的に表現しようとしている。	○対象の特徴をとらえ、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさを考えて表現の構想を練っている。	○マークの特性を理解し、表したいイメージをもって形や色彩の効果などを生かしながら表現している。	○よりよい作品にするために、形や色彩を意識して批評し合い、改善点を見出している。 ○〔共通事項〕の視点で作品のよさを鑑賞している。

### 3 指導と評価の計画

(全8時間)

次	学習内容(時数)	評価				生徒の反応		
		関	発	技	鑑			
1	<p><b>課題の設定</b></p> <p>伝達の表現について理解し、そのよさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にでも分かるマークづくりについて理解する。</li> <li>・自分の町の自慢の特産品や文化、観光地をアピールするためのデザインについて意見を述べ合う。</li> </ul> <p>対象の形の特徴などをとらえて、誰にでも分かるデザインを考えて発想し、構想を練る。</p> <p>(3)</p>	○	◎			<p>○郷土のよさに関心をもち、それらを分かりやすく伝えるために主体的に表現しようとしている。</p> <p>○マークの特性を理解し、表したいイメージをもって形の効果などを生かしながら表現している。</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <p>①課題発見・解決力(ワークシート)</p> <p>②創造力(作品)</p> <p><b>【意欲・態度】</b></p> <p>⑤主体性(行動観察)</p>	 <p>「せらにし」にはどんなイメージがあるだろう？</p>
2	<p><b>整理・分析</b></p> <p>対象の色彩の特徴などをとらえて、誰にでも分かるデザインを考えて発想し、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マークの統一感を図るために、グループで話し合い活動をする。</li> <li>・印象的に伝えるための色彩の効果を考え、配色計画を立てる。</li> </ul> <p><b>協調学習を取り入れた授業</b> 【本時】(1)</p>		◎			<p>○対象の特徴をとらえ、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>○よりよい作品にするために、形や色彩を意識して批評し合い、改善点を見出している。</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <p>①課題発見・解決力(ワークシート)</p> <p><b>【意欲・態度】</b></p> <p>⑤主体性(行動観察)</p>	 <p>色彩の効果に着目すると、印象の違いが分かって、配色を考えやすくなるね。</p>
3	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>表したいイメージを基にマークを制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチを基に、表現方法を工夫して画用紙に描画する。</li> </ul> <p>(3)</p>			○		<p>○マークの特性を理解し、表したいイメージをもって色彩の効果などを生かしながら表現している。</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <p>②創造力(作品)</p>	<p>配色計画ができていると、色を作るときに迷わなくていいね。</p> 
4	<p><b>振り返り</b></p> <p>完成した作品を互いに鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マークの主題や工夫を発表し、互いのよさを感じ取り、自分の価値観をもって味わう。</li> </ul> <p>(1)</p>			○		<p>○[共通事項]の視点で作品のよさを鑑賞している。</p>	<p><b>【意欲・態度】</b></p> <p>⑦感性(ワークシート)</p>	<p>「せらにし」のイメージが伝わりやすく、美しいマークができたね。</p> 

## 4 本時の学習

### (1) 本時の目標

色が感情にもたらす効果や配色の効果を理解し、目的に合った配色を考え、その理由を説明することができる。

### (2) 準備物

ワークシート、テレビ、タブレットPC

### (3) 本時の学習展開

●ねらいーまとめ ■言語活動 ★発声 ▲熟考・表現タイム □ドリル

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
<b>1 本時の課題を確認する。(5分)</b>			
○本時の学習課題を確認する。  「せらにし」のマークの配色を考えよう。			
●本時の目標を確認する。  色が感情にもたらす効果や配色の効果に着目し、「せらにし」のマークの配色を考え、その理由を説明することができる。			
○学習課題についての個人の考えを書く。(言葉で表現する)	○本時の活動の流れと課題を提示し、見通しをもたせる。		
<b>2 グループで共通の課題を確認する。(10分)</b>			
【エキスパート活動】 ○エキスパート資料をもとに、資料の内容を理解する。  A : 「色相の組み合わせによる印象の違い」 B : 「明度と彩度の差がつくる印象の違い」 C : 「メインカラー (主調色) の決定による統一感」	○生徒間の対話を意図して、教師から教えることはせず、理解が不十分なことは、ジグソー活動で相談させるようにする。  A, B, C : 混色カードで色を組み合わせ、それぞれの印象の違いを確認する。		
<b>(30分)</b>			
【ジグソー活動】 ▲エキスパート活動で分かったことを説明し合い、課題に取り組む。	○理解が不十分であったり、納得できない内容があったりする場合は、それがどのようなことなのかを聞きだし、生徒間の対話の中で考えさせる。  ○グループで、それぞれの知識を組み合わせ、配色を考え、タブレットPCで色の組み合わせを確認させる。	○対象の特徴をとらえ、配色の効果を生かし、分かりやすさを考えて表現の構想を練っている。(ワークシート)	【意欲・態度】 ⑤主体性 (行動観察) 自分から課題に向き合い、積極的に意見を交わしながら他者と関わっている。(B評価)

<p>【クロストーク】</p> <p>■各班で出来上がった図を全体で発表する。</p> <p>●本時のまとめをする。</p>	<p>○ジグソー活動での様子を把握しておき、意図的に指名し、発表させる。</p> <p>○完成図をテレビに映し、全体で交流を行う。</p>	<p>○よりよい作品にするために、色彩を意識して批評し合い、改善点を見出している。</p> <p>(行動観察)</p>
--	---	---

色相調和、明度と彩度の差がつくる印象の違い、メインカラーの決定など、配色を計画する上で重要なポイントがいくつかあり、様々な効果を生み出すことができる。

**4 本時の学習のまとめと振り返りをする。(5分)**

<p>●学習課題について、本時の学習活動を基に、最終判断として、自分の考えをまとめる。</p> <p>○次時の内容の提示 「せらにし」のマークの配色を通じて、学べたことを整理し、再度個人で配色計画を立て、マークの制作に取り掛かる。</p>	<p>○クロストークまでの学習内容を基に、自分の最終判断とその理由を明確に書くよう指示をする。</p> <p>○協調学習で、深まった自分の考えを、2名程度発表させ、考えの共有を図るとともに、本時の学習成果を実感させる。</p>	<p>【スキル】</p> <p>①課題発見・解決力(ワークシート) 課題解決のために、配色による効果を確認した上で、どのように解決していくかということを考え、自分の考えをまとめている。(B評価)</p>
---	---	---

【期待される考え】(B評価)  
自分たちのマークは「せらにし」の静かなイメージを伝えたいので、同じ色相でまとめ、明度や彩度は近くしてやわらかい印象にし、一番主張したい題材の色の緑色を、メインカラーにした。